

⑤ 中谷彰宏 著

『+1%の企画力』

(ダイヤモンド社)

本書では、企画とは、「ひと工夫」をすることであると書いています。また企画するにあたっては、このように表しています。「面白くしようとすれば頭は、まわりはじめるのです。『あとで人に話せるネタ』を作るために企画しようと考えると楽しくなります。『今流行っていることの逆を考えよう』など柔軟な発想も必要です。考えすぎてもいけません。周囲の話に耳を傾ける事も必要です。」企画力を身につける具体的な方法についてわかりやすく丁寧に解説されています。

本書が人生を有意義に生き抜く術を身につける参考材料になればと願っています。

336.1-Nak (S.S.)

⑦ 和田裕美 著

『幸せをつかむ!時間の使い方:
不器用な人のためのタイムマネジメント』

(ダイヤモンド社)

時間をもっと上手に使えたらと思った事はありませんか?もっと効率よく行動したい、仕事とプライベートの時間を上手に調節したい、でもなかなか思うようにいかないと思悩む方も多いはずです。本書では、営業のプロであり、また数々の講演・セミナーをこなす著者が、これまでの経験や忙しい日々の生活から得た時間に対する考え方、時間の節約法、仕事の時間配分の仕方といった時間術を、自身のエピソードを交えて紹介しています。本書を参考にもう一度時間の使い方について見つめ直してみたいはかがででしょうか。

159-Wad (Y.Y.)



⑥ 千田大介、山下一夫 編

『北京なるほど文化読本』

(大修館書店)

2008年オリンピックの開催で北京は大変注目されました。新聞やTVの報道を見て、北京や中国に興味を持った人も多いのではないのでしょうか。同じアジアにあっても、中国と日本の社会には様々な点で違いがあります。

本書では、北京を中心に中国の現代文化が文学、映画、演劇、音楽、テレビ、食文化などジャンル別に紹介されています。中国文化の特徴や中国の最新の動向を知ることができ、中国理解を深めることができると思います。

302.2211-Peki (N.I.)

⑧ 成美堂出版編集部 編

『京都を英語で言ってみる:
travel & English』

(成美堂出版)

日本のこと、京都のことをどれくらい英語で言えますか。「わび・さび」といった日本ならではの言葉や伝統行事など、いざ英語で説明しようとするのが難しいものです。

本書はエリアごとに分けて、日本語と英語で京都を紹介しています。ひとことで京都の名所や、その地にまつわるものを説明できる便利な表現満載です。写真やイラストマップも載っていますので、ガイドブックとしても楽しめます。

気候のよくなるこれからの季節、英語を学びながら京都をめぐるみてはいかががでしょうか。

291.62-Kyot (Y.Y.)